

# 鈴木すみえ市政報告

仙台市議会  
2月・3月定例会にて登壇



## 仙台市議会 令和5年度第1回定例会が終了しました

2月10日～3月14日まで、仙台市議会令和5年度第1回定例会が開会されました。第1回定例会では、条例案28件・人事案2件・その他の案15件・補正予算案14件・令和5年当初予算16件・議員提案2件の合計77件で審議が行われました。新年度の一般会計は6,147億円で、今年度予算を218億円上回り、初めて6,000億円台となりました。

デジタル化では、マイナンバーカードを用いて区役所窓口での申請時の負担を軽減する「書かない窓口」の設置など。子ども若者関連では「仙台こども財団(仮称)」を創設し子ども未来局をこども若者局への改称など。まちの魅力創造では、スタートアップ支援に1億円の投入ほか、次世代放射光施設ナノテラスの活用を見据え「イノベーション推進部」を設置する、脱炭素社会に向け市独自の断熱基準をつくり、新築・リフォーム費用を補助する事業に1億6,900万円を投じるなど。

一方で、2024～2033年にかけて10年度分の収支見通しは3,732億円の財源不足が生じるとの算出があり、市政には厳しい舵取りが求められます。

## 「仙台市パートナーシップ制度導入」の提案をいたしました

鈴木  
すみえ

今年日本はG7のホスト国です。日本以外のG7各国には同性婚を認める法律やパートナーシップ制度があります。日本でもパートナーシップ制度を導入した自治体は広がっており、人々の意識は大きく変化しています。条例などで同性カップルを婚姻相当と認めるパートナーシップ制度は既に全国250以上の自治体に広がり、全国の政令指定都市でまだ制度が導入されていないのは仙台市と神戸市のみです。

郡市長は「他の自治体より遅れているとの指摘は真摯に受け止める。当事者の中でも様々な意見がありより良い制度とするため時間を要している。」と答えています。

自治体が率先して制度を整えることには、大きな意味があります。社会から認められず悩む当事者の方々にとって心の支えにもなります。制度整備に多額の予算は必要ありません。

パートナーと生涯を共にしても、相続権や配偶者控除も認められない、公営住宅や民間住宅に共に入居できない、病院で病状説明に同席できない、入院や手術の同意書にサインができない、面会ができない。災害時情報照会ができない、避難所や仮設住宅を同一世帯として利用ができない。保険受取人になれない等、不安定な生活を余儀なくされています。今も長年連れ添ったパートナーの死を看取れず病室の外で涙を流す人がいます。

パートナーシップ制度を盛り込んだ条例制定に踏み出すべきです。当事者が「受け入れられている」という気持ちを持つ大きなメリットがある制度です。

一方、同性カップルに対する法的保護が認められるようになって、実際にその制度を利用するためにはカミングアウトする必要があり、当事者は差別を恐れてカミングアウトできず、せっかく導入した制度を利用することができない。同性カップルに対する差別を社会から取り除くための取組みを進める必要があります。当事者のうち約6割以上の方が「自死を考えた経験あり」と回答をしています。周囲の無理解により精神的に追い込まれている実態があります。

このような現状を踏まえ政府の自殺総合対策大綱にも、無理解や偏見等がその背景にある社会的要因の一つであると捉えて、理解促進の取組みを推進する必要性が明記されています。

・医療介護従事者の方々に対し、性の多様性について正しい理解とそれに基づく適切な対応を依頼、促進していくことが必要です。医師会等関係機関の担当部局と連携し、現場のニーズを吸い上げながら、性の多様性の理解促進に係る医療・介護従事者の方々への働きかけを進めることを求めます。

郡市長の  
答弁

多様な性への理解促進に向けては今まさに国における法制化の動きがあり、同性婚も含めた様々な議論がなされているところです。仙台市としてはこの状況を見極めながら、性的少数者の方誰もが安心して暮らせる環境づくりの取組みを進めてまいります。不安や生きづらさを抱えながらこの制度を待ち望んでおられる方々の思いを十分に受け止めつつ、鈴木すみえ議員提案のレインボーライトアップなども含めました効果的な理解促進の手法にも検討をまいります。

# 一般質問に立ちました!

## Question その他の質問

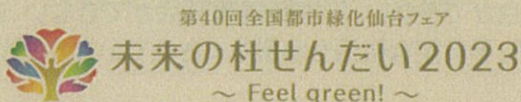
- ☞ パートナーシップ制度導入に向けた取り組みを
- ☞ 教育における性多様性の理解      ☞ LGBTQの自殺防止対策
- ☞ 医療・介護従事者のHIV感染者への理解促進      ☞ レインボーライトアップ
- 会計年度任用職員の処遇改善と3年目以降の任用のあり方
- 子どもの権利を守る保育を

## Question 予算審査特別委員会の質問

- 制度変更による復興公営住宅家賃減免世帯の負担の軽減を
- 老朽化した県営住宅の廃止に伴う本市公営住宅への影響
- 公営住宅のストック活用と孤立の予防に向けた取り組み
- 南小泉中学校に開設する夜間中学における環境整備の充実と生徒の学び直しの支援

### 全国都市緑化仙台フェア

## 未来の杜せんだい 2023が開催



34年ぶりとなる国内最大級の花と緑の祭典「全国都市緑化仙台フェア」が、新しく整備した青葉山公園をメイン会場に、市内一円で4月下旬から開催されます。

杜の都の美しい景観や歴史、文化、先端技術を使った街づくり、防災環境としとしての歩みを、国内外に発信する絶好の機会となります。



### 次世代放射能光施設ナノテラス

## 2023 G7 仙台科学技術大臣会合 開催

東北大学青葉山新キャンパスにまもなく完成する世界最新鋭の実験施設「次世代放射能光施設ナノテラス」は、様々な分野でイノベーションを生み出し、その立地のよさで施設を利用する国内外の研究機関や企業の人材がここ仙台に集積。

その「ナノテラス」と本市が進める先端技術を活用した、まちづくりなどが評価され、「G7仙台科学技術大臣会合」が開催されます。

仙台市議会議員  
鈴木すみえ事務所

@sumie\_suzukick

〒984-0057 仙台市若林区三百人町96-2  
TEL.022-797-0331 / FAX.022-797-0332

実際の質疑・答弁の様子は  
市議会ホームページ(録画)でご覧になれます。

